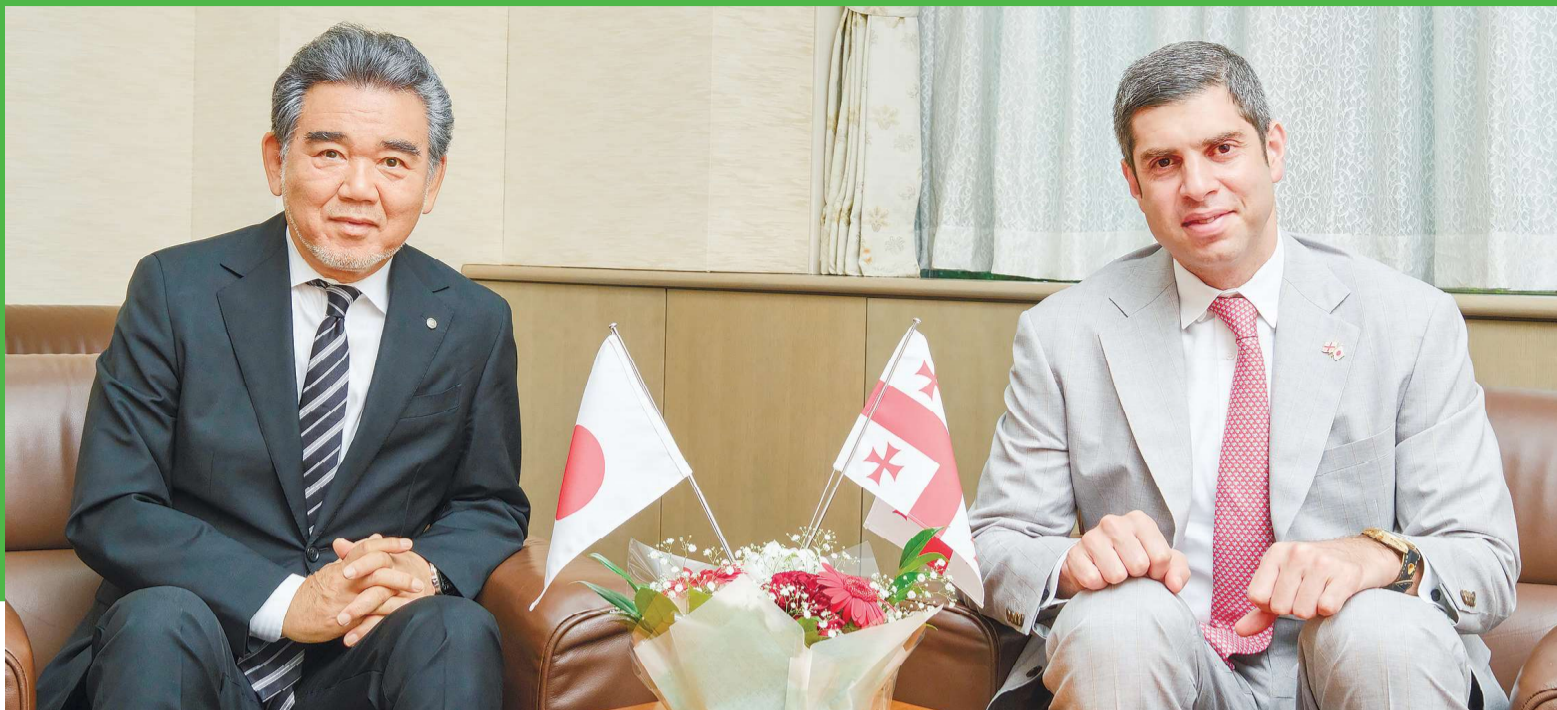




# 広島大学は今年 創立75+75周年を迎えました

広島大学長  
越智 光夫

1952年愛媛県生まれ。77年広島大学医学部卒業。95年島根医科大学教授。2002年広島大学大学院教授。広島大病院院長を経て、15年広島大学長に就任。除菌剤、スポーツ医学を専門とする整形外科医。15年教授職を授け、21年文部科学省科学技術・学術政策総合政策特別委員会委員、17年日本学術会議委員、11年17年および22年から日本学術会議連合会委員、21年文部科学省科学技術・学術政策委員会委員、文部科学省中央教育審議会委員。



駐日ジョージア特命全権大使  
ティムラズ・レジャバ氏

1988年ジョージア州アトリンで生まれる。生物学者の父に連れられ、4歳の頃より東広島市で過ごす。2011年早稲田大学国際教養学部を卒業。大学卒業後、ジョージア、日本、アメリカ、カナダで教育を受け、日本の企業、キッコーマン株式会社に就職。2018年、ジョージア外務省に入省。臨時代理大使を経て、2021年より駐日特命全権大使。

広島大学長  
越智 光夫

特別  
対談

駐日ジョージア特命全権大使  
ティムラズ・レジャバ氏

## 平和を全ての出発点に 広島・日本から発信する

SNSでの文化発信が人気のジョージア大使、ティムラズ・レジャバ氏。幼少期を過ごした広島の思い出や平和について、広島大学の越智学長と語り合っていました。



### 広島は私の日本生活の原点 人生の基礎を築いたまち、東広島市

**越智** 大使は幼い頃を東広島市で過ごされ、日本に親近感を抱いておられるそうですね。私たちも大変うれしく思います。お父さまは広島大学の大学院に留学されたそうですが、当時の広島の印象はいかがでしたか？

**レジャバ** 人生の中で日本で生活が長くなってきましたが、日本はまさに第二の故郷。中でも広島こそが私と日本をつなぐ原点で、心の最も深い部分を占めていると感じます。当然ながら私もカーブ・ファン！今年は調子がいいですね。このままがんばってほしいです（笑）。

**越智** 私も長い間、カーブのチームドクターをやっていましたが、大使は生粋の広島人ですね（笑）。でも当時の東広島は、外国人も少なかったのでは？

**レジャバ** そうですね。外国人が少なく、子どもながらに外から来たという意識が強く、どこかシャイな子どもでした。私がなじめたのは、周りの方々の温かさがあったから。そもそも父が留学できたのは、広島で産婦人科を営んでいた角谷哲司先生のおかげです。研究者であった祖父は、角谷先生と国際学会で知り合いました。当時はソ連の影響が色濃く、連絡もままなりませんでした。祖父がなんとか先生にお願いし、父の留学が実現したのです。先生は日本での生活も支えてくれ、私が小学校に上がる際には、ランドセルをプレゼントしてくれました。今でも私の大切な宝物です。

**越智** おじいさまの代から始まったご縁だったんですね。現在、お子さんも日本で暮らしておられるから、4代続く物語が日本で紡がれていることになりそうですね。ところで大学や就職された会社では、どのように過ごされたのですか？

**レジャバ** 大学時代は大切な友人と出会い、自分がなすべきことを見つめる良いきっかけをもらったと感じています。卒業後はキッコーマンに就職しますが、大変貴重な経験を得ます。私は学生時代を男子学生寮である和敬塾で過ごし、日本への理解を深めたつもりでしたが、企業では、さらに知らない世界が待っていました。キッコーマンは300年以上の歴史を持つ企業です。得意先に対して、どうすればより喜んでいただけるか、細かなところまで常に考えている会社でした。そうした日本風の配慮は、外交の仕事にも通じるものがあります。

### 大国による暴力に対し、 連帯して声を上げる

**越智** 大使はアメリカやカナダにもいらしたそうで

すね。日本とはかなり違った印象を抱かれたのではないですか？

**レジャバ** アメリカやカナダは自由で刺激的な反面、日本に比べると建国が新しく歴史や伝統というところで、私には少し物足りなかったですね。日本は非常に個性的な文化が数多く育まれており、だからこそ私はその中でジョージアのアイデンティティを強く継承できたと感じています。もしも日本ではなく他国で育ったら、こうはなかったでしょう。

**越智** 2008年には、ジョージアとロシアの間で戦争も起きました。その時の印象は、どのようなものでしたか？

**レジャバ** 考え方が一変する衝撃的な経験でした。大国が力を使って、容赦なく人の命を奪っていく。戦争という暴力の恐ろしさを思い知らされました。

**越智** ウクライナ侵攻の際も、14カ国の駐日大使とともにウクライナの旗を掲げ、連帯を呼びかけられましたね。

**レジャバ** あの運動は確か、侵攻が起こるわずか1時間前のことでした。年末ぐらいから国境が非常に緊迫した状況にあり、2008年のジョージアの状況ととてもよく似ていました。他国との協調は入念に確かめる必要があり、それなりのリスクも伴います。しかし、ここで声を上げないことには、今後ジョージアの問題にも目を向けられない可能性が生じます。そんなことになれば、自分はこの先ずっと後悔するだろう。ジョージアと広島にバックグラウンドを持つ自分がやらねばと、強く思いました。

**越智** 平和は全ての基本にあるといつてよいでしょうね。広島大学は理念の第一に「平和を希求する精神」を掲げ、平和に関するカリキュラムを必修化しています。その中には戦争だけでな

く、飢餓や貧困、環境問題といった項目も含まれます。これらは、平和でなければ解決できない問題。平和が全ての出発点だと私は考えます。

**レジャバ** そのお考えに深く共感します。私は先ほどご紹介した恩人の角谷先生から、被爆後の広島の様子をお聞きしました。先生はたまたま建物疎開が代休となり助かったそうですが、学校の友人は大勢亡くなったそうです。母国の戦争体験を経て、私は先生のお話を当事者目線で聞けました。若者がこの先の人生をよりよく生きていくためにも、平和の意識を根底に抱えることはとても大切です。

### 一番に伝えたいのは自国の文化

**越智** 大使はSNSを駆使して、自国の文化を発信していますね。Xのフォロワーも34万人を超え、大変人気だとお聞きしました。どういった理由から、こうした活動を始められたのですか？

**レジャバ** 一番の理由は、ジョージアを知ってほしいからです。外交の場合、何をやるにしても、自国を知ってもらわないと始まりません。先ほどの平和の話だって意味を成さないのです。残念ながら現在の日本では、ジョージアの認知度は発展途上にあります。母国をより知ってもらうためのSNSです。

**越智** しかし、最近は大使の尽力もあり、ずいぶん認知度が上がってきていると感じますが。

**レジャバ** いえいえ、まだまだです。何を一番伝えたいかという、やはり自国の文化を知ってほしいです。文化を通して国を知ってもらうことで、いろいろな取り組みが生まれ、私の仕事も充実します。だからSNSをはじめ、試行錯誤しながらさまざまな挑戦をしています。

**越智** なるほど。「国のブランディング」を行って



るわけですね。私たち、広島大学もこれまでの殻を破り、幅広い取り組みを行っています。そうした取り組みを広く知ってもらい、大学のブランディングを図りたいと考えているのですが、これがなかなか難しい。その点、大使のアプローチはとても参考になります。6月の大阪に続いて、9月に開催する東京でのイベント（紙面下部に掲載）には、大使にもご講演いただきますので、楽しみにしています。最後に、広島大学の学生に向けて、メッセージをお願いできますか。

**レジャバ** 若い学生の皆さんは、それだけでもすごく大きなポテンシャルがあります。ましてや広島大学の学生は「世界の平和の首都」ともいえる広島で学んでいるのですから、平和を願う気持ちをしっかりと胸に抱き、自分の特色を出し、その思いを強みにしてほしいと思います。そして「自分たちは本当に世の中を良くできる」という意識を持ってください。これが私の率直な思いです。

2024 150th ANNIVERSARY

漕ぎ出せ混沌の海に 走れ創造の彼方へ — 100年後にも世界で光り輝く大学へ —

## 「広島大学 in 東京2024」要申込

日時 2024年9月21日(土)~22日(日) 会場 一橋講堂(東京都千代田区)

司会進行:フリーアナウンサー 河村 綾奈(広島大学法学部卒)

9.21(土) 14:00~18:30  
**広島大学の紹介**  
 越智 光夫 広島大学長  
**記念講演**  
 福岡 伸一氏 生物学者/作家  
**LOOK 広島大学**  
 片山 春菜助教 宇宙の謎に挑む(アジアの科学者100人に選出)  
 堀内 浩幸教授 アレルギーを起こさない鶏卵食品を食卓に

9.22(日) 9:30~12:30  
**記念講演**  
 柳沢 正史氏 睡眠学者  
**LOOK 広島大学**  
 澤井 努特定教授 科学技術と社会を架橋する倫理の専門家  
 楠 真一教授 世界トップレベル研究拠点(WPI)キラルノット  
**ピース・レクチャー・マラソン**  
 ティムラズ・レジャバ氏 駐日ジョージア特命全権大使

その他イベント  
 ●広島大学パネル展/各学部・研究科紹介、広島大学歴史写真展、最先端研究等  
 ●フォトスポット/広大マスコット「ひろてぃー」と一緒に記念撮影 ●情報交流会/9/21、会費制5,000円

## 広島大学オープンキャンパス2024

現地開催 2024年 8月8日(土)~9日(日)

主な企画・コンテンツ  
 ●現地開催プログラム/学長基調講演、在学生による大学紹介、学部・学科紹介、模擬授業、研究室紹介など  
 ●オンライン個別相談/本学の教職員および在学生が、教育・研究、学生生活等の質問や相談にお答えします。

●東広島キャンパス 東広島市鏡山1-3-2  
 ●西キャンパス 広島市南区西1-2-3  
 ●東千田キャンパス 広島市中区東千田町1-1-89  
 ●オープンキャンパスに関する問い合わせ先 E-mail nyusi-group@office.hiroshima-u.ac.jp

基本理念  
 ○平和を希求する精神  
 ○地域社会・国際社会との共存  
 ○新たな知の創造  
 ○絶えざる自己変革  
 ○豊かな人間性を培う教育

学部  
 ■総合科学部 総合科学科 国際共創学科  
 ■教育学部 第一類(学校教育系) 第二類(科学文化教育系) 第三類(言語文化教育系) 第四類(生涯活動教育系) 第五類(人間形成基礎系)  
 ■法学部 法学科  
 ■経済学部 経済学科  
 ■理学部 数学科 物理学科 化学科 生物科学科 地球惑星システム学科  
 ■医学部 医学科 保健学科  
 ■歯学部 歯学科 口腔健康科学科  
 ■薬学部 薬学科 薬科学科  
 ■工学部 第一類(機械・輸送・材料・エネルギー系) 第二類(電気電子・システム情報系) 第三類(応用化学・生物工学・化学工学系) 第四類(建設・環境系)  
 ■生物生産学部 生物生産学科  
 ■情報科学部 情報科学科

大学院  
 ■人間社会科学部研究科 ■先進理工系科学研究科 ■統合生命科学部研究科 ■医系科学研究科 ■スマートソサイエティ実践科学研究科